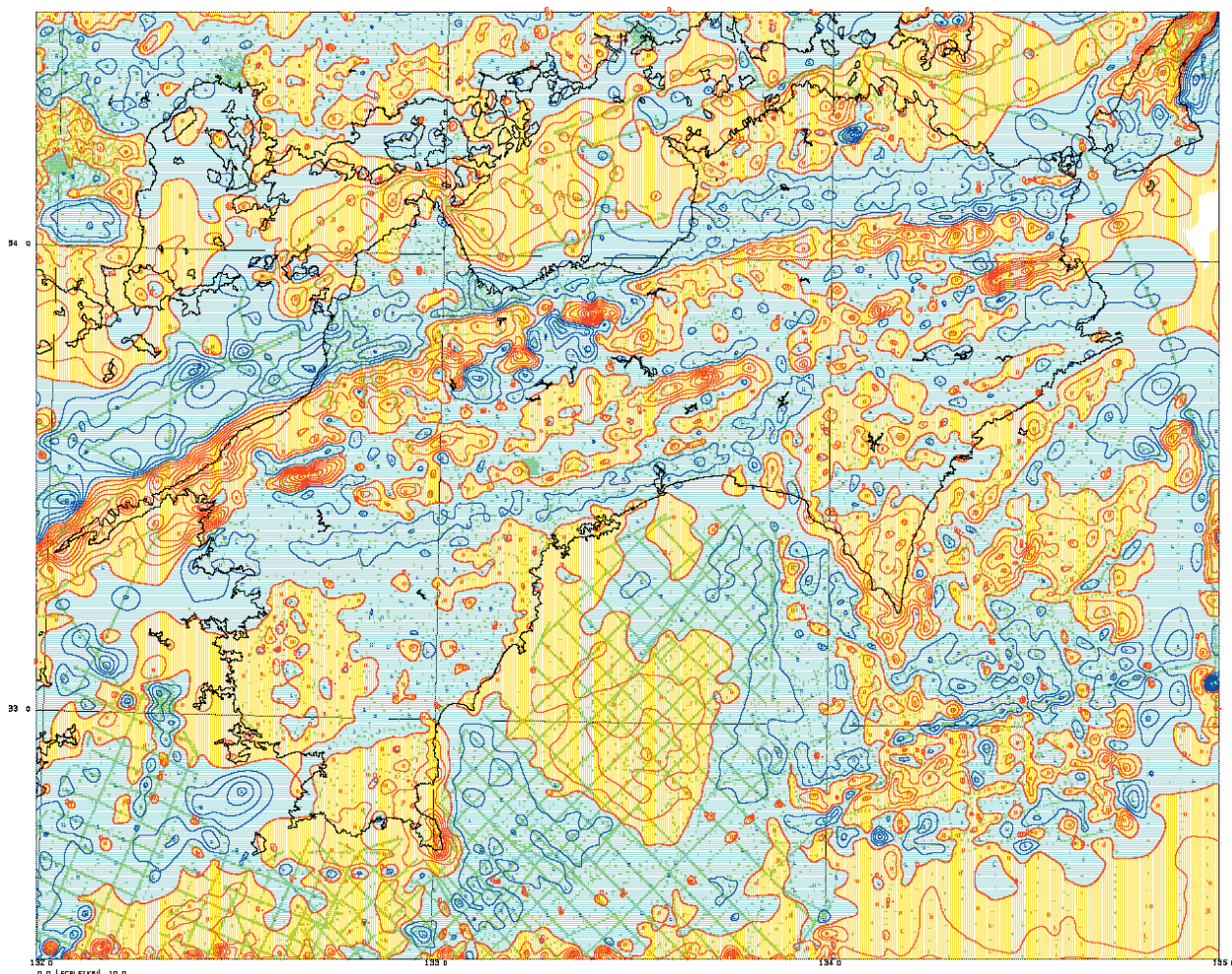


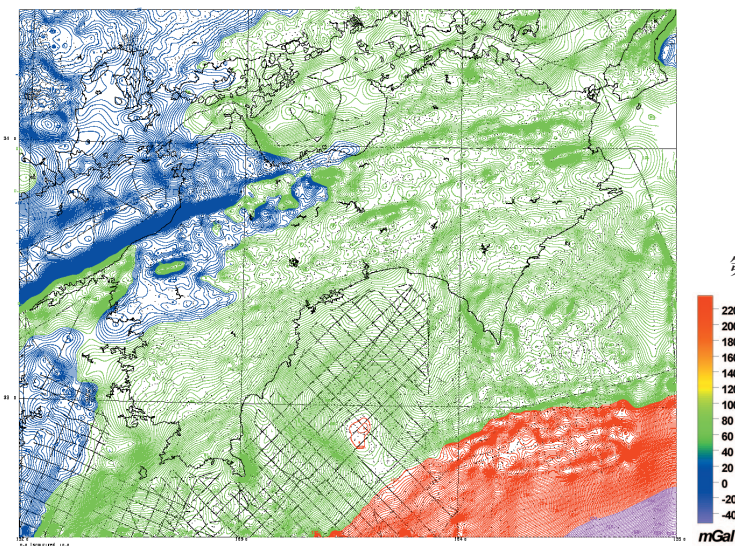
四国地域の(残差)重力図

<名和 一成・佐藤 秀幸・駒澤 正夫・中塚 正・大熊 茂雄>



第1図 四国地域の残差重力図。

地殻構造と対応しやすいように、ブーゲー異常図(第2図)からフィリピン海プレートなど深部構造の影響(長波長成分)を取り除いたものです。



第2図 四国地域の重力異常図(ブーゲー異常)。

南部に行くほど重力異常が大きくなっています。この傾向は、沈み込むフィリピン海プレートの影響を反映しています。中央構造線に対応する重力異常の急変帯が、四国北部を東西に横切っています。断層などを挟んで地下の岩石の種類が変わったり、基盤の深さが変わったりする場所では、この急変帯が現れます。